



に関する研究に従事した。第一章の出発編では、虫や花や動物をじっと観察した様子が描写されている。出会い編後半は、教え子との米国での再会、劇的な分だけ私の記憶から消え去ることはない。第三章は米国内で生き続ける日本文化について。日本語学校や教会での日系アメリカ人との出会いは、日本人として外国に生きることを考える上でとても意義深かった。さらに滞在中に体験した社会問題は、今読んでも私にとって新鮮である。第四章はハワイ大学と BYU 大学の様子を客員教員の立場で内から観察したもので、趣味の面では日米のスポーツに関する違いに触れることができたのは意義深かった。第五章の家族編では子供との米国での経験、子供の成長記録などプライベートな記事が多いが、私にとって最も記録し記憶しておきたいことだったので、今回の留学紀行の最後に付け加えた。